

国語科学習指導案

2022年5月31日(火)

3年1組(19名)

授業者 山口美香

本日利用するアプリケーション等 Forms(Teams)

1 題材名 俳句の読み方、味わい方 〈俳句を評価し合おう〉

2 題材について

(1)本時の目標

- ・俳句の約束事や構成を意識して、自分の思いや体験を表現することができる。
- ・作者の思いをくみとり、作品をよりよいものに高めることができる。

(2)1人1台端末(タブレットPC)の活用について

- ・Forms(アンケート機能)を用い、心に響いた俳句に投票することができる。【知・技】[学んだ力]
- ・Forms(アンケート機能)を用い、作品のよかった点を評価し、アドバイスを入力することができる。

【知・技】[学んだ力]

3 本時の授業展開

◆ICT(1人1台端末)利用

段階	学習活動と内容	形態	教師の指導・支援	評価とその方法 (意識した情報活用能力)
つかむ	1 前時の確認	PW	・修学旅行中に創作した俳句の季語を確認して、ベスト一句を決めたことを振り返らせる。	
	2 本時の内容について見通しをもつ。	CW	・Forms で「心に響いた俳句5句」を投票し、友達の俳句を評価することを確認させる。	
見通す	3 めあての確認をする	CW	・本時のめあてを明確にする。	
	めあて 友だちの俳句を読み、評価の観点を意識して評価し合おう			
	4 Forms を使った投票、評価の仕方を確認する。	CW		
練り合う	5 クラス全員の俳句を音読し、ベスト5句を選び、投票する。	PW	◆黒板に掲示したクラス全員の俳句を番号順に音読し、心に響いた5句の番号をForms で投票させる。	・心に残った俳句5句を投票できたか。【知・技】観察・Forms(端末を操作する力)
	6 集計結果を電子黒板で確認し、上位5句の表現や語句の工夫をグループで話し合い、発表する。	GW	・既習事項を想起して話し合わせる。	
		CW	・各班の意見を発表、掲示させる。	
深める	7 心に響く俳句の表現や語句の工夫を意識して、友達の俳句にアドバイスを入力する。	PW	◆できるだけ多くの作品のアドバイスを送るように促す。 ・自分の番号の前後の俳句には、必ずアドバイスを入力させる。 ・アドバイスの観点を意識させる。 ・よりよい俳句にするための参考にさせる。	・よりよい俳句にするためのアドバイスを入力しているか。【知・技】Forms 観察(端末を操作する力)(文字を入力する力)
	8 入力されたアドバイスを読み、推敲の見通しを持つ。			
まとめる	9 本時の学習を振り返る	PW CW	・本時の活動の振り返りを行う。 ・数名の生徒に今日の授業で学んだことを発表させる。	・振り返りシート